

ヘルプ

ユーザーズマニュアル



Created: Tuesday, May 16, 2017

Copyright © pictar. All Rights Reserved.

目次

ユーザーズマニュアル	1
Section 1: 製品概要	1
概要	1
PICTAR各部の説明	3
シャッターボタン	5
ズームリング/セルフイボタン	6
露出補正ホイール	7
スマートホイール	8
バーチャルホイール	10
リスト/ネックストラップ	11
カメラグリップ	12
キャリングポーチ	14
1/4インチ三脚穴	15
コールドシューマウント	16
コールドシューマウント	17
PICTARアプリ	18
Section 2: 使用方法	19
PICTARアプリのダウンロード方法	19
電池の使い方	21
PICTARの装着方法	22
PICTAR専用アプリの起動方法	23
ストラップの使い方	24
PICTARの脱着方法	25
Section 3: PICTARの使い方	26
オートモード	26
スポーツモード	28
マクロモード	29
シャッター優先モード	30
ISO優先モード	31
マニュアルモード	32
セルフイモード	33
ムービーモード	34
フィルターモード	35
Section 4: 各種設定	36
設定について	36

PICTAR各部の説明





シャッターボタン



シャッターボタンを押し続けると「写真を撮る」または「ビデオ録画が開始」します。

DSLR (デジタル一眼レフカメラ) のように、最大の感度で撮影できるように電子的に補正されています。

シャッターボタンを半押しすると、フォーカスと露出がロックされますので、被写体の構図を調整できます。

お好みのフレーミングで、シャッターボタンを押すと撮影ができます。

ヒント:

PICTARのシャッターボタンは、手袋を着用した状態でも写真を撮れます。スポーツの際や寒い天候での撮影に最適です。

ズームリング／セルフボタン



ズームリングはシャッターボタンの下にあり、iPhoneの画面でのピンチやズームの必要はありません。

片手でズームリングを回してズームインまたはズームアウトできます。

ズームリングは、PICTARアプリよりカスタマイズができます。また、iPhoneの画面でのピンチ&ズームも使用できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面カメラと背面カメラが切り替わり「セルフ撮影」ができます。こちらの機能もズームリングの設定をカスタマイズして他の設定にできます。

ヒント:

セルフ撮影モードを片手で撮影したいときは、ズームボタンをクリックして前面カメラに切り替えます。ズームリングを回して好みの構図で撮影できます。

露出補正ホイール



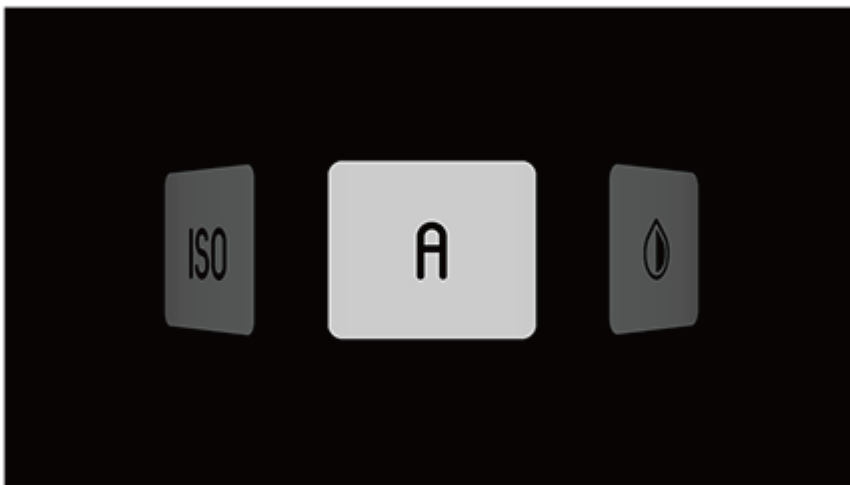
露出補正ホイールは、写真は暗すぎたり明るすぎたりした時にホイールを回すことで撮影前に明るさを調節できます。DSLR(デジタル一眼レフカメラ)のように、ホイールはiPhoneの画面の下部に表示します。調整方法としては1/3アパーチャステップで露出を変更できます。

ヒント:

マニュアルモードでは、露出補正ホイールでISO値を制御できます。



スマートホイール



スマートホイールは、プリセットモードを変更できます。また、PICTARアプリよりカスタマイズができます。

初期設定では、スマートホイールは下記の操作となります。

- A** 初心者に最適な自動モード
- フィルタモード** 写真に様々なフィルタ効果が使えるモード
- セルフモード** 自撮りなどの撮影に適したモード
- ビデオモード** 動画撮影モード
- マクロモード** 接写などの撮影に適したモード
- スポーツモード** 動きの早い被写体の撮影に適したモード

- M** (上級ユーザー向け)シャッタースピードとISOのトータルコントロールができるマニュアルモード
- S**..... (上級ユーザー向け)シャッター優先モード
- ISO** (上級ユーザー向け)ISO優先モード

バーチャルホイール



PICTARアプリの画面右側に、バーチャルホイールがあります。
フラッシュモード、シャッター速度、ISO等の様々なコントロールを変更できます。
iPhoneの画面をフリックすることで設定を変更できます。
撮影モードの切替はスマートホイールで行えます。
バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプで隠せます。
iPhone画面の右端から指で左にスワイプすると再び表示できます。
小さな青い矢印は現在の設定している状態となります。

リスト／ネックストラップ

PICTARは、リストストラップやネックストラップを使用することで、故意の落下などを防げます。

リストストラップは、PICTARが手から落ちないようにつかえます。ネックストラップは、PICTARを首から下げての持ち運びに最適です。

2つのストラップは、持ち運びやすさと素早く撮影ができるように使えます。



カメラグリップ



一眼レフカメラの雰囲気のある強いハンドグリップは、iPhoneをDSLR(デジタル一眼レフカメラ)カメラと同じくらい自然で安全に使えるように設計されています。人間工学に基づいたPICTAR本体の形状と滑り止めグリップにより、片手でもiPhoneをしっかりと構えられます。



キャリングポーチ



キャリングケースは、PICTARを安全に持ち運ぶ際に便利です。

1/4インチ三脚穴



一般的な一眼レフカメラのようにPICTARの底面に標準的な1/4インチネジ式三脚ソケットがあります。

カメラ用の三脚や雲台等に取り付けることが可能です。

長時間露出では、手ぶれなどでぼやけたショットにつきやすいので、安定した三脚やスタンド等を利用することで美しい写真を撮影できます。

コールドシューマウント



PICTARの上部には、標準サイズのコールドシューマウントがあります。

LEDライトやマイクなどのフルサイズのカメラアクセサリを多数取り付けられます。

コールドシューマウントは、300gまでのカメラアクセサリを装着できますが、ホットシューマウントではないので、フラッシュユニット等の使用はできません。

PICTARをiPhoneに装着した場合、ライトニングコネクタ等が使用できなくなります。

iPhoneをPICTAR本体に接続する前に、iPhoneに接続している機器は取り外す必要があります。

PICTARは、iPhoneのレンズ部分を覆うことはありませんので、一般的な「クリップオンレンズ」等が使用でき、カメラの機能をさらに拡張することも簡単にできます。

バッテリーインジケータ



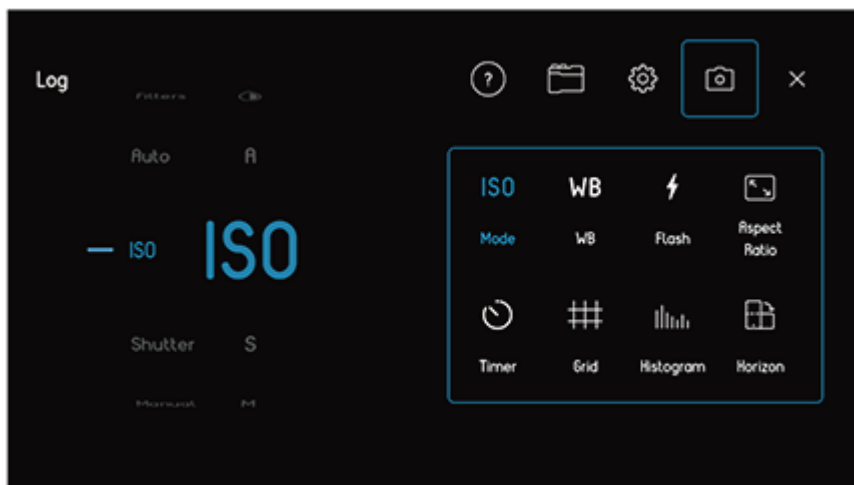
PICTARの青色のバッテリーインジケータは、PICTAR本体のダイヤルが動作したときに点灯します。

バッテリーが正常に動作している場合は、バッテリーインジケータが点滅します。

約45秒間動作をしなかった場合は、バッテリーインジケータが消灯します。

バッテリーの寿命が切れ掛かっている場合は、バッテリーインジケータが高速で点滅します。

PICTARアプリ



PICTARは、専用アプリよりiPhoneと通信を行います。

iPhoneの標準カメラアプリでは操作のできない主要なカメラ機能が使えるようになります。

PICTAR本体は、人間の耳に聞こえない高周波のデュアルトーンサウンドを使用してiPhoneと通信をします。

そのためBluetooth接続と比較しても、PICTARはバッテリー消費が少なく済みます。

PICTARアプリ ダウンロード

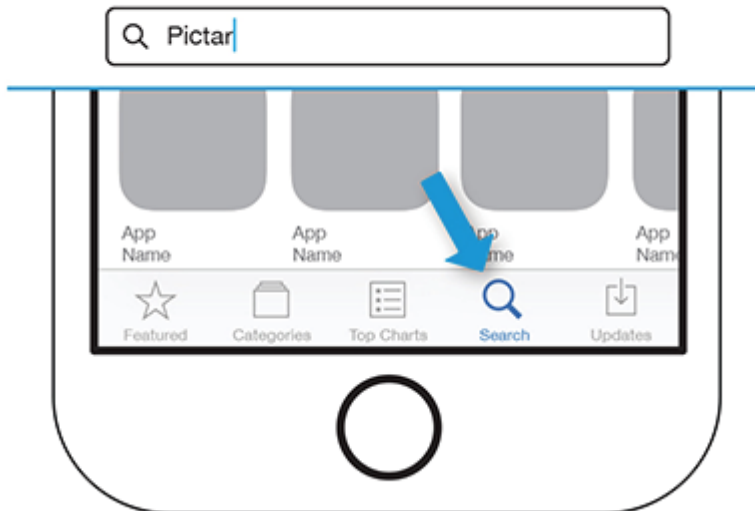
<https://itunes.apple.com/jp/app/pictar-by-miggo/id1233712669?mt=8>

PICTARアプリのダウンロード方法



1. CLICK ON APP STORE ICON

2. SEARCH FOR PICTAR APP



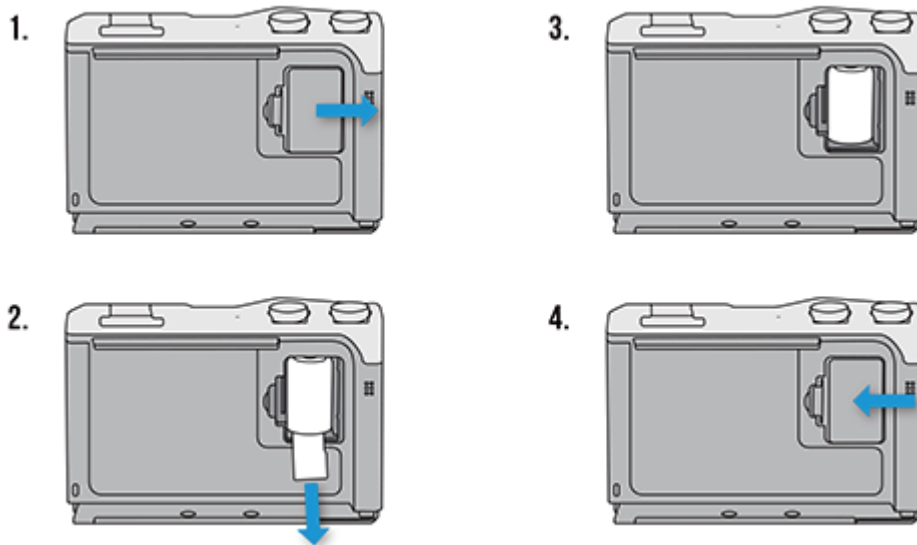


iPhoneのApp Storeアイコンを起動して検索から「PICTAR」と検索してください。(※PICTARアプリは無料です)
PICTARアプリをダウンロードして、画面の指示に従ってカメラのマイクと写真にアクセスすることに同意します。
PICTARは、iPhone 4s以降(iOS 8以降)に対応しているため、iPhoneの機種が異なる人や友人や家族間で共有できます。
PICTARを共有して使うには、それぞれのiPhoneにPICTARアプリをダウンロードするだけです。
なお、PICTARには2つの異なるモデルがあります。

Pictar対応機種 iPhone 4s / 5 / 5c / 5s / SE / 6 / 6s / 7

Pictar Plus対応機種 iPhone 6 Plus / 6s Plus / 7 Plus

電池の使い方



PICTARにはあらかじめ「CR1 / 2AA リチウム乾電池」が装着されています。(※輸送中に給電されないようにプルタブが付いています)

乾電池を作動させるには、電池カバーを取り外します。

次に、乾電池の底部にあるプルタブを引き出してください。

これにより、PICTARで乾電池が使えるようになります。

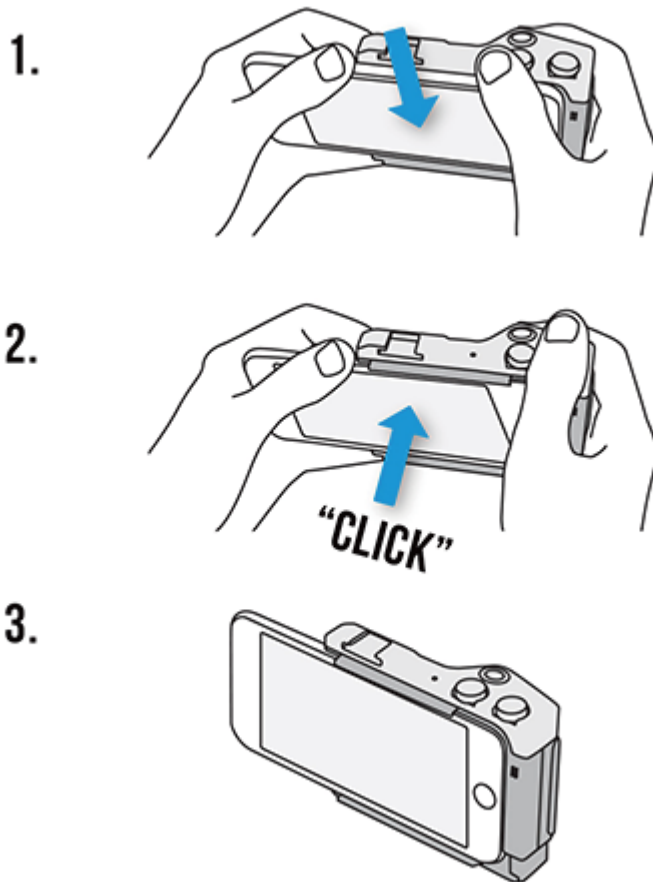
最後に電池カバーを元に戻してください。

乾電池は、通常の使用で約4～6ヶ月使用できます。

新しい乾電池と交換するには、電池カバーを開けて古い乾電池を取り出し、新しい乾電池入れてください。(※1 / 2AAで3.6Vの乾電池をご使用ください)

その後、カバーを元に戻してください。(使用済みの乾電池は、お住いの地域の規則に従って廃棄をお願いいたします)

PICTARの装着方法



PICTARへiPhoneを装着する場合は、iPhoneの背面がPICTAR本体に向けて装着を行います。

iPhoneの左側面(音量ボタン側)をPICTARのiPhone設置スペースの下部へはめ込みます。

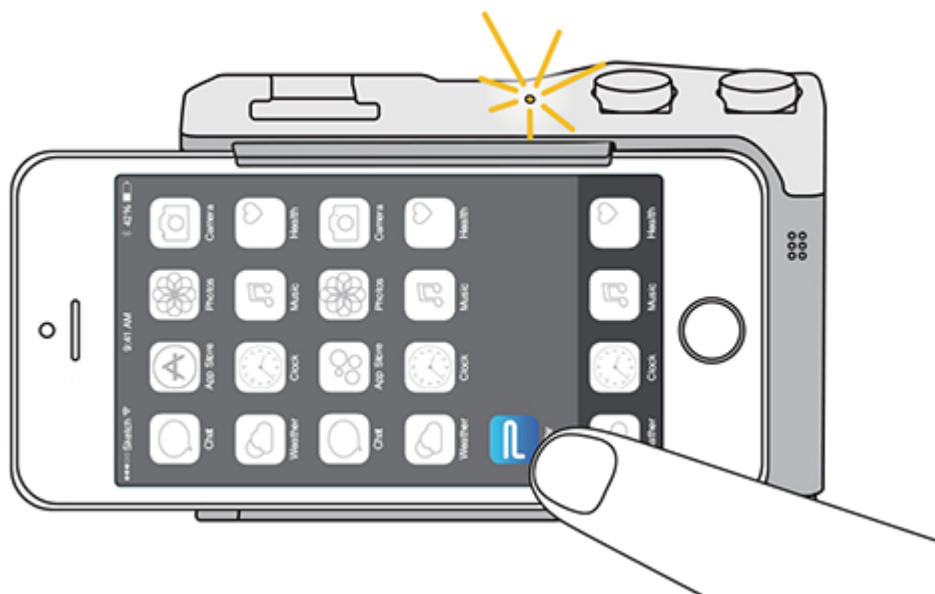
iPhoneがPICTARのiPhone設置スペース上部の所定の位置に、しっかりと収まるまでPICTAR本体のスプリング式の底部を引き下げて装着します。

iPhoneの底部(充電コネクタ側)は、PICTARのiPhone設置スペースの右端に収まるように装着してください。

ヒント:

極薄型のiPhoneケースやバンパー等であれば、iPhoneに取り付けたままでPICTARに装着ができます。

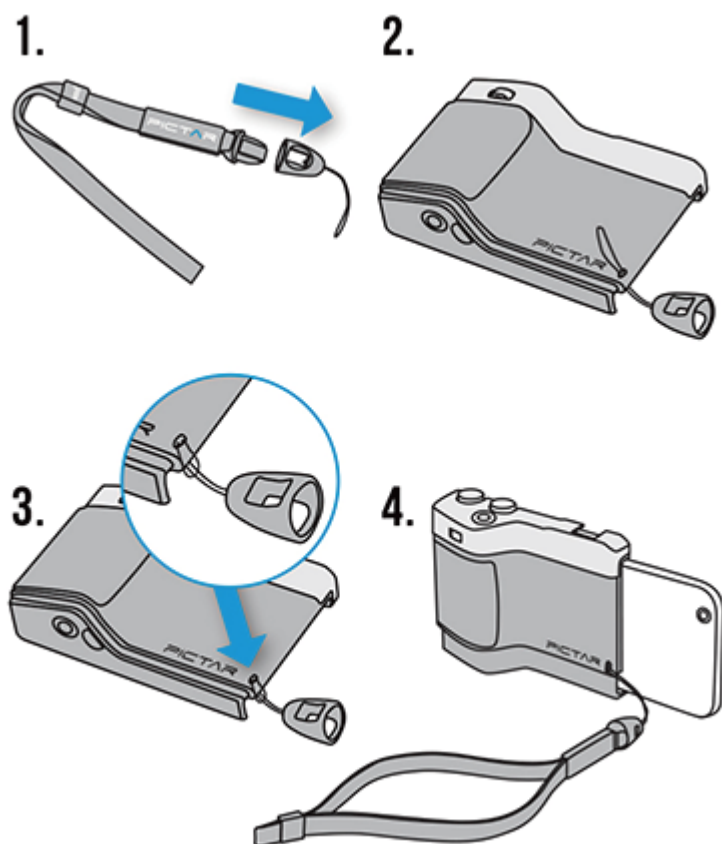
PICTAR専用アプリの起動方法



iPhoneのPICTARアプリアイコンから起動をします。

各種ホイールやシャッターボタンが動作してPICTAR本体がiPhoneと通信している場合は、PICTAR本体上部の青色バッテリーインジケータが点灯します。

ストラップの使い方



付属のストラップのクイックコネクタとストラップ本体を分離します。

ストラップの糸部分をPICTAR本体正面のストラップホールに通します。

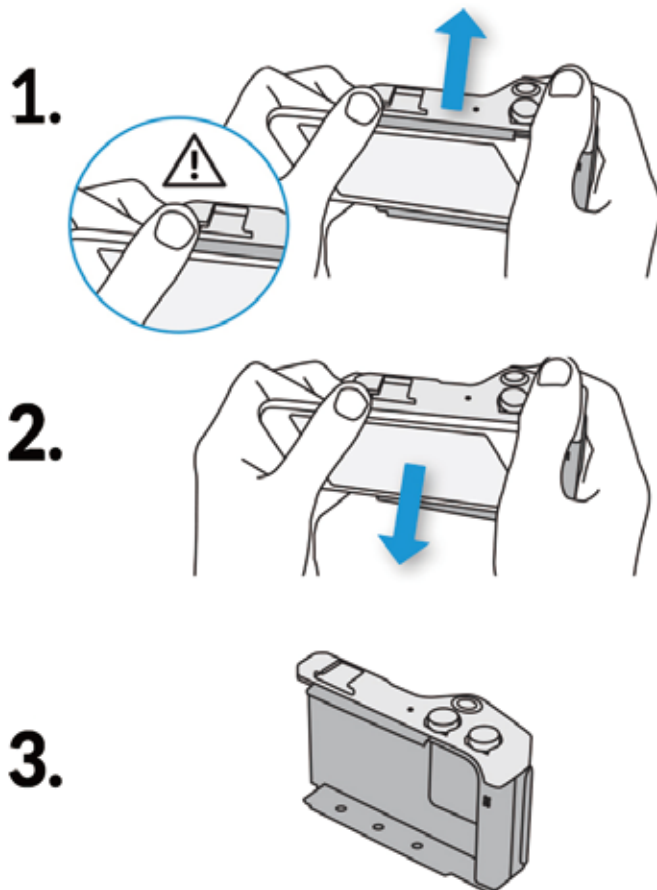
クイックコネクタをストラップの糸部分の中に押し込み、PICTAR本体にしっかりと締め付けてからストラップ本体を取り付けます。

PICTARの脱着方法

PICTAR本体をiPhoneに脱着するときは、iPhoneやPICTAR本体が損傷する恐れがあります。

iPhoneの上部から慎重に押してPICTAR本体からiPhoneを外してください。

iPhoneをPICTAR底部から取り外します。特に力を入れる必要はありません。



オートモード

「A」または「オートモード」は、カメラの設定のほとんどを自動的に調整してくれるモードです。煩わしい設定などを気にせずに写真を撮影したい方におすすめです。

1.1 基本操作

PICTARアプリを起動します。スマートホイールを回してAモードを選択します。選択後数秒でAのシンボルマークはiPhoneの画面の中央から消えます。現在使用しているモードは、PICTARアプリ画面の左上にも表示をします。

被写体のアングル等を確認して、シャッターボタンを全押しすると、PICTARアプリから写真が撮影されます。撮影した写真は、カメラロールに保存されます。

1.2 ズーム機能

ズーム機能を使うことで様々な撮影ができます。ズームリングを回すと、ズームインやズームアウトができますのでお好みの構図を楽しめます。ズーム機能は、標準設定の×1.0から10倍に拡大された×10.0まで、ズームの状態を示すアイコンが画面中央に表示します。

1.3 シャッターの半押し

シャッターボタンを半押しすると、画面中央にアイコンが表示されて露出アイコンが表示します。カメラはこの位置を基準とする画像の部分にフォーカスを当てて露出補正を行います。露出補正が行われたらシャッターボタンを全押しして撮影してください。露出アイコンが設定されていない場合は、カメラは撮影範囲全体から平均的な光の読み取りを行います。

1.4 ピントと露出ポイントの変更

カメラが撮影範囲の別の部分にフォーカスを当てるようにしたい場合は、iPhoneの画面の露出アイコンを指で画角の関連部分にドラッグします。その後、シャッターボタンを押して撮影してください。再度フォーカスをあわせるには、露出アイコンを撮影範囲の別の部分にドラッグします。フォーカスをやり直すには、シャッターボタンを放してもう一度半押しします。

シャッターボタンを半押しするかどうかにかかわらず、iPhoneの画面の触れることで、フォーカスと露出アイコンをアクティブにできます。

1.5 露出の変更

露出アイコンは、カメラの焦点と露出ポイントを移動するだけでなく、適切な露出を設定するときの写真の明るさ（画角の明るさや暗さ）を表示します。写真が明るすぎたり暗すぎたりするときは、露出補正ホイールを回してお好みの状態に調整できます。露出補正ホイールを回すと、画面の下部にあるグリッドに写真を明るくするか暗くするかを表示します。お好みの状態に調整してシャッターボタンを全押しして撮影してください。

1.6 オートモードの詳細な調整方法

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすることでカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポイントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。露出補正ダイヤルホイールを回して写真の明るさの微調整もできます。

1.7 バーチャルホイールの使い方

iPhone画面の右側には、フラッシュなどの様々な機能を変更できる様々バーチャルホイールがあります。上下にフリックすることで、フラッシュ機能を、全自動/連続フラッシュ/フラッシュオフ/フラッシュフルなどへ変更できます。メニューをスクロールして目的のフラッシュ機能をお選びください。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

1.8 写真を見る

iPhone画面の右下に、積み重なった写真アイコンがあります。写真アイコンをクリックすると、撮影した写真やカメラロール内の他の写真が見られます。撮影した写真は、写真情報を見たり、削除や共有ができます。

1.9 オートモードでの自撮り撮影

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のオートモードの機能が動作します。

スポーツモード

スマートホイールを回して、スポーツモード(人がランニングをしているアイコン)に合わせて、スポーツモードに設定します。この設定は、被写体が、スポーツをしていたり、走り回るペットや動いている人のように、動きのある被写体を写真で撮影するモードです。

スポーツモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

スポーツモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、高いシャッタースピードを設定して被写体を撮影します。撮影範囲の光レベルを考慮してISOを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているシャッタースピードやISOも変更されません。スポーツモードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のスポーツモードの機能が動作します。

マクロモード

スマートホイールを回して、マクロモード(花のアイコン)に合わせて、マクロモードに設定します。この設定は、花のような小さな被写体のクローズアップ写真を撮影するのに適したモードです。

マクロモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、絞り(F値)の値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

マクロモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。マクロモードでは、撮影範囲の被写体距離の短い範囲を手動でフォーカスができます。フォーカス距離の設定はiPhone画面の右側にあるスライダーを使用します。スライダーは上から下へ向かうほどフォーカス距離が近くなります。シャープにしたい撮影範囲のピントが合う位置へフォーカスポイントをスライドさせます。お好みの状態に調整をして撮影ができます。マクロモードでは、iPhone画面をタップすると露出ポイントとフォーカスポイントの組み合わせったアイコンが表示します。ただし、マクロモードでは自動フォーカスが無効となりますので、露出を撮影範囲の露出ポイントで設定します。ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。フォーカスは、顔検出による設定で行われます。

シャッター優先モード

スマートホイールを回して、シャッター優先モード(Sの文字アイコン)に合わせて、シャッター優先モードに設定します。この設定は、シャッター速度を変更できますので、動きの早い被写体や、動きの印象を残すために残像を残すような撮影に適したモードです。

シャッター優先モードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定／シャッタースピード(S)／絞り(F値)の3つの値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

シャッター優先モードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に調整します。シャッター優先モードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッタースピードを設定します。1/8000秒など、非常に高速なシャッタースピードに設定をすると被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。1/2秒の低いシャッタースピードから一般的な撮影まで様々な効果を表現する設定ができます。花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。PICTAR本体底部には1/4インチ三脚マウントが付いています。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

シャッター優先モードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベル設定したシャッタースピードを考慮してISOを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているISOは自動調整されます。シャッター優先モードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のシャッター優先モードの機能が動作します。

ISO優先モード

スマートホイールを回して、ISO優先モード (ISOの文字アイコン) に合わせて、ISO優先モードに設定します。この設定は、カメラの光がどの程度敏感で画質のきめ細かさの調整に適したモードです。

ISO優先モードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定 / シャッタースピード (S) / 絞り (F値) の3つの値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

ISO優先モードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してISO値を設定します。ISO2000などの非常に高いISO値に設定すると、カメラが光に敏感になり夜間や暗室での撮影に最適です。ただし、ISO値を高くすると画質が劣化いたしますのでご注意ください。ISO20までの低ISO設定は、カメラの光に対する敏感さを軽減します。天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したりする場合など、最高の画質を求める場合に最適です。低ISO設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッタースピードが遅いことがあり、非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

Pictarは自動的にシーンの明るさを測定し、設定したシーンとISOに当たる光レベルを考慮してシャッター速度を調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているISOは自動調整されます。ISO優先モードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のISO優先モードの機能が動作します。

マニュアルモード

スマートホイールを回して、マニュアルモード(Mの文字アイコン)に合わせて、マニュアルモードに設定します。この設定は、カメラの感度の調整やシャッター速度やフォーカスなど様々な設定の調整に適した上級者向けのモードです。

マニュアルモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

マニュアルモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッター速度を設定します。1/8000秒など、非常に高速なシャッター速度に設定をすると被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。1/2秒の低いシャッター速度から一般的な撮影まで様々な効果を表現する設定ができます。花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。PICTAR本体底部には1/4インチ三脚マウントが付いています。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

マニュアルモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してISO値を設定します。ISO2000などの非常に高いISO値に設定すると、カメラが光に敏感になり夜間や暗室での撮影に最適です。ただし、ISO値を高くすると画質が劣化いたしますのでご注意ください。ISO20までの低ISO設定は、カメラの光に対する感度を軽減します。天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したりする場合など、最高の画質を求める場合に最適です。低ISO設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッター速度が遅いことがあり、非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。

PICTARは自動的に撮影範囲の明るさを測定せず、撮影範囲の光レベルからISOまたはシャッター速度も調整しません。ユーザーが設定した内容で写真を撮影します。

マニュアルモードでは、設定メニューよりフォーカス設定をマニュアルにすることでiPhone画面の右側のスライダーでフォーカス調整ができます。初期設定はオートフォーカスとなります。スライダーは上から下へ向かうほどフォーカス距離が近くなります。シャープにしたい撮影範囲のピントが合う位置へフォーカスポイントをスライドさせます。お好みの状態に調整をして撮影ができます。マニュアルモードでは、iPhone画面をタップしても露出ポイントとフォーカスポイントの組み合わせされたアイコンは表示しません。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のマニュアルモードの機能が動作します。

セルフイモード

スマートホイールを回して、セルフイモード(セルフイのアイコン)に合わせて、セルフイモードに設定します。この設定は、前面カメラから自撮りをするときに適したモードです。

セルフイモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、絞り(F値)の値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

セルフイモードは、カメラが顔検出機能より被写体の顔にピントを合わせます。バーチャルホイールはフラッシュアイコンを表示していますが、セルフイモードでは機能しません。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

セルフイモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。セルフイモードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

ムービーモード

スマートホイールを回して、ムービーモード(ムービーカメラのアイコン)に合わせて、ムービーモードに設定します。

ムービーモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、録画した経過時間が表示されます。シャッターボタンを押して録画を開始すると、タイマーの横に赤色のアイコンが表示され、録画中となります。シャッターボタンをもう一度押すと録画を終了します。

ムービーモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してカメラの内蔵ライトを設定します。低光量撮影等に便利な機能です。上下にフリックすることで、フラッシュ機能を、全自動/ライトオン/ライトオフ/ライトフルなどへ変更できます。メニューをスクロールして目的のフラッシュ機能をお選びください。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

ムービーモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してムービーすべての設定を調整します。露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。ムービーモードでは、iPhone画面をタップすると露出とフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすることでカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポイントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。露出補正ダイヤルホイールを回して写真の明るさの微調整もできます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のムービーモードの機能が動作します。

フィルターモード

スマートホイールを回して、フィルターモード(しずくの形のアイコン)に合わせて、フィルターモードに設定します。この設定は、様々なビルトインのクリエイティブやテクニカルフィルタを使用して、静止画モードでの写真の表示方法を変更するのに適したモードです。撮影後にフィルタを適用するのではなく、写真がどのように撮影されるかをリアルタイムで確認できるので撮影結果がわかりやすいです。

フィルターモードのアイコンが画面の左上に表示されます。フィルターのリストがiPhone画面の左側に表示され、スクロールして選択できます。iPhone画面上でアイコンをスワイプするか、露出補正ホイールを回すことでも実行できます。選択されているフィルタの周囲に青い輪郭が表示されます。iPhone画面にフィルタの効果が適用された状態でリアルタイムにフィルターが表示されます。ほとんどのフィルターは、iPhone画面の左側のスライダかiPhone画面の右側のバーチャルホイールのスライダから調整ができます。設定を変更することによる効果はリアルタイムで見られます。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

PICTARは自動的に撮影範囲の明るさを測定せず、撮影範囲の光レベルからISOまたはシャッター速度も調整しません。ユーザーが設定したフィルター設定で写真を撮影します。フィルターモードでは、iPhone画面をタップすると露出とフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすることでカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポイントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のフィルターモードの機能が動作します。

フィルターは、App Storeで個別または割引価格でまとめ買い購入できます。

設定について

iPhone画面の右上にある歯車をタップすると設定メニューが開き、様々な設定を変更できます。

iPhone画面の右上には5つのメインアイコンがあります。チュートリアル等のヘルプ／通信メニューやボタンメニューのカスタマイズ設定／サウンドやジオタグや購入の復元とリセットの設定／カメラ設定があります。

一番右のアイコンで設定メニューからカメラ画面に戻ります。

1. ヘルプメニュー

ヘルプアイコンをタップすると、チュートリアルやユーザーガイドを表示できます。PICTARの使用についてのチュートリアルや使い方を知りたいときにはこちらを参照してください。(※閲覧にはインターネットに接続している必要があります)

2. PICTARアイコン

PICTAR本体を表すアイコンをタップすると、各種ホイールコントロールのカスタマイズのできるメニューとなります。

カスタマイズしたいホイールをクリックすると、ホイールが様々なモードでコントロールできる機能のメニューが表示します。

ホイールの操作をカスタマイズしたい場合は、iPhone画面上のアイコンをスワイプします。

カスタマイズしたメニューの状態が表示されているように各種ホイールが動作します。

3. 設定アイコン

歯車アイコンをタップすると、各種設定が変更できる別のサブメニューが表示します。

1. サウンドアイコン 左側のスライダを上下に動かして音量を調できます。
2. ジオタグ ジオタグ機能をオンまたはオフできます。
3. リセット PICTARを工場出荷時の設定に戻します。
4. 購入の復元 プレミアムフィルタ等の購入したPICTARの追加機能を復元できます。

(※Apple IDでApple Storeにサインインする必要があります。)

4. カメラアイコン

カメラアイコンをタップすると、撮影プリセット等の設定変更や撮影に関する詳細な設定が行えます。

- モード モードアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
PICTARの撮影設定を9つのモードから選択できます。
- ホワイトバランス WBアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
特定のホワイトバランスを設定したり、WBA設定で自動ホワイトバランスにも設定できます。その他、撮影範囲内の光源と一致するように、日陰/晴れ/白熱/曇り/蛍光等の設定ができます。(※ホワイトバランスモードは、一部の撮影モードでは使用できません。)
- フラッシュ WBアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
フラッシュモードには、フラッシュのオン/オフ/自動フラッシュ/フルパワーフラッシュがあります。
- アスペクト比 アスペクト比アイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
撮影範囲のアスペクト比を選択できます。標準の3×4/ワイドスクリーンの16×9/正方形の1×1が設定できます。
- タイマー タイマーアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
シャッターボタンを押してからカメラを撮るまでの時間を選択できます。初期設定はオフとなります。シャッターを全押しした瞬間にカメラが写真を撮影します。3秒/5秒/10秒/15秒の時間を選択できます。
- グリッド グリッドアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
撮影範囲にグリッドを表示できます。グリッドは撮影範囲を9つのセクションに分割して水平と垂直の直線を表示させます。画角やレイアウトを想定しやすくなります。(※グリッドモードは、一部の撮影モードでは使用できません。)
- 水平線 水平線アイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
撮影範囲の水平線を表示できます。水平線は、撮影範囲を水平に保つように、PICTARの水平角度を数値でも表示します。風景写真や建物の撮影に最適です。(※水平線モードは、一部の撮影モードでは使用できません。)
- ヒストグラム ヒストグラムアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
撮影範囲のヒストグラムを表示できます。ヒストグラムは、撮影範囲内のトーンを黒から白へとリアルタイムでグラフィカルに表現するため、経験豊かな写真家が露出を判断するのに適しています。理想的な撮影をしたい場合は、ヒストグラムの両端に極端な重心を置かないことが良い写真のコツとなります。
- フィルター フィルターアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
フィルター機能のオン/オフの切り替えができます。フィルターモードは選択したフィルターが撮影範囲にリアルタイムに表示されます。
- フォーマット 撮影データ形式を、JPEGとTIFFの選択ができます。
TIFFファイルは、大容量の写真となりますが、写真の加工に適した最高レベルの画質を維持できます。
- HDR 撮影時に3枚の写真を撮影して、3枚の写真を重ね合わせます。露出オーバーまたは露出アンダーの写真からベストショットを作成しますので、写真の安定した質を求めるのに適したモードです。
- フォーカス フォーカスを手動/自動の切り替えができます。